

たけ (たて) みなかたとみのみことひこかみわかじんじゃほんでん ふぞくわにぐち  
建御名方富命彦神別神社本殿及び付属鱧口



△建御名方富命彦神別神社



△鱧口

大面取りの向拝柱を建て、階段をつけて本屋へ上るように建てられた一風変わった構造である。本殿は正面 196 cm、側面 168 cm の一間社流れ造、屋根は柿板葺である。

鱧口は直径 30 cm、重さ 9.6kg の鉄製で、中央に蓮華紋をあしらい、右側に「奉懸岩井備中守信能」、左側に「文禄三歳四月吉日」と陽刻されている。

当時、岩井信能は上杉景勝の信任厚く飯山城代であったので、当社を再建した折に民生の平穩を祈って奉納したものであろう。